

平成 28 年度 日本原子力学会 北関東支部 講演会 実施報告

開催日時：平成 29 年 2 月 17 日（金）13:30～17:05

開催場所：東海村産業・情報プラザ（アイヴィル『iVil』）多目的ホール

平成 28 年度の北関東支部講演会を平成 29 年 2 月 17 日（金）に東海村産業・情報プラザ（アイヴィル『iVil』）多目的ホールにて開催いたしました。当日は、158 名と多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

講演会のプログラムは以下のとおりです。

- ① 高嶋 哲夫 氏〔作家〕
『福島第二原発の奇跡』から見えてきたこと
- ② 大場 恭子 氏〔原子力機構 原子力科学研究部門〕
福島第一原子力発電所事故と事故対応を次の安全に生かすために
—レジリエンスエンジニアリングの手法を用いた分析により見えてきたもの—
- ③ 亀山 秀雄 氏〔東京農工大学 名誉教授〕
水素エネルギー技術分野の最近のトピックスと課題
- ④ 西原 哲夫 氏〔原子力機構 高温ガス炉水素・熱利用研究センター〕
高温ガス炉とこれを用いた熱利用技術の研究開発の現状

高嶋先生と大場先生のご講演会では、東電福島第一原発事故の経験や教訓を新たな側面から分析し、今後の原子力関係者のやるべきことや日本の役割についてご講演いただきました。また、亀山先生と西原先生には、水素社会とそこでの原子力水素の役割についてご講演いただき、改めて水素社会について考える良い機会になったと思います。北関東支部の学会員のみならず聴講者にとっては有意義な機会となりました。



写真1 講演会の様子